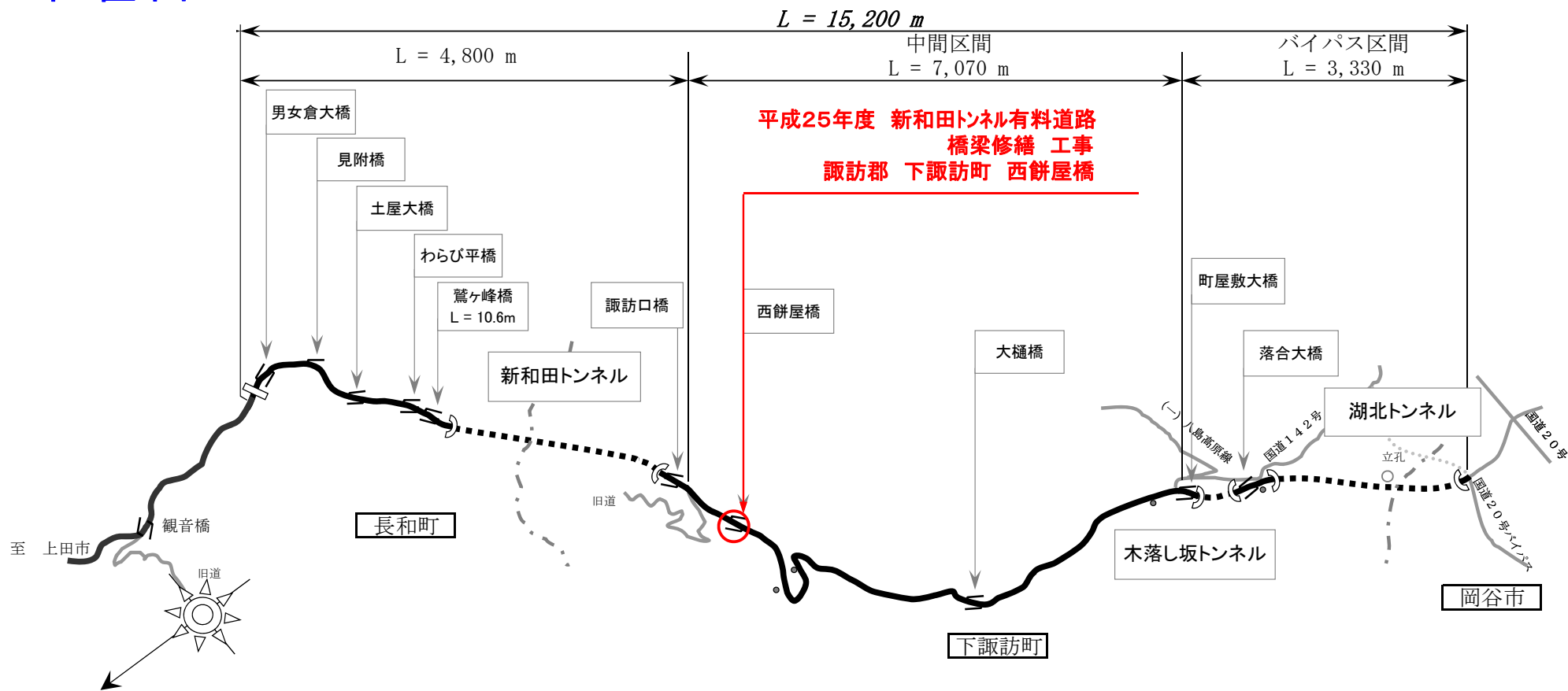


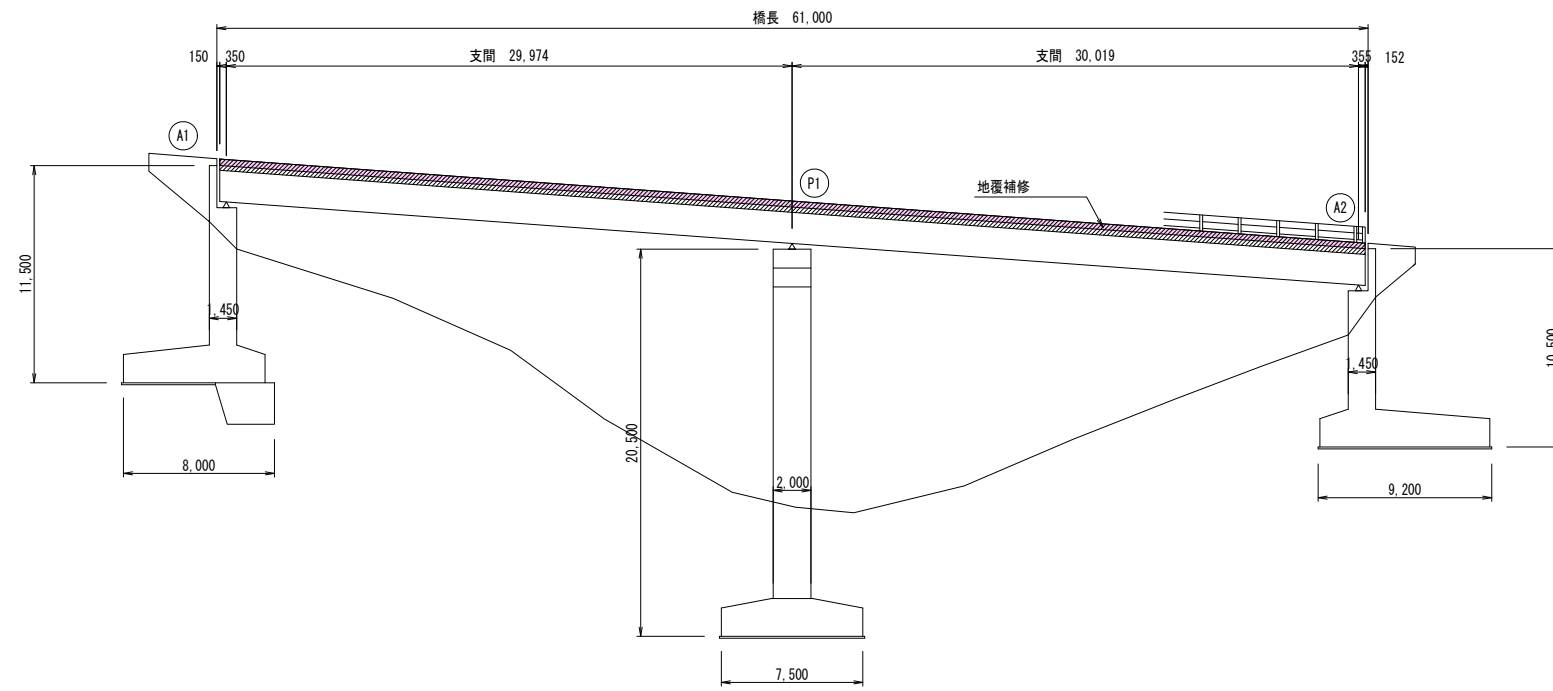
位置図

新和田トンネル有料道路 (路線全体概略図)

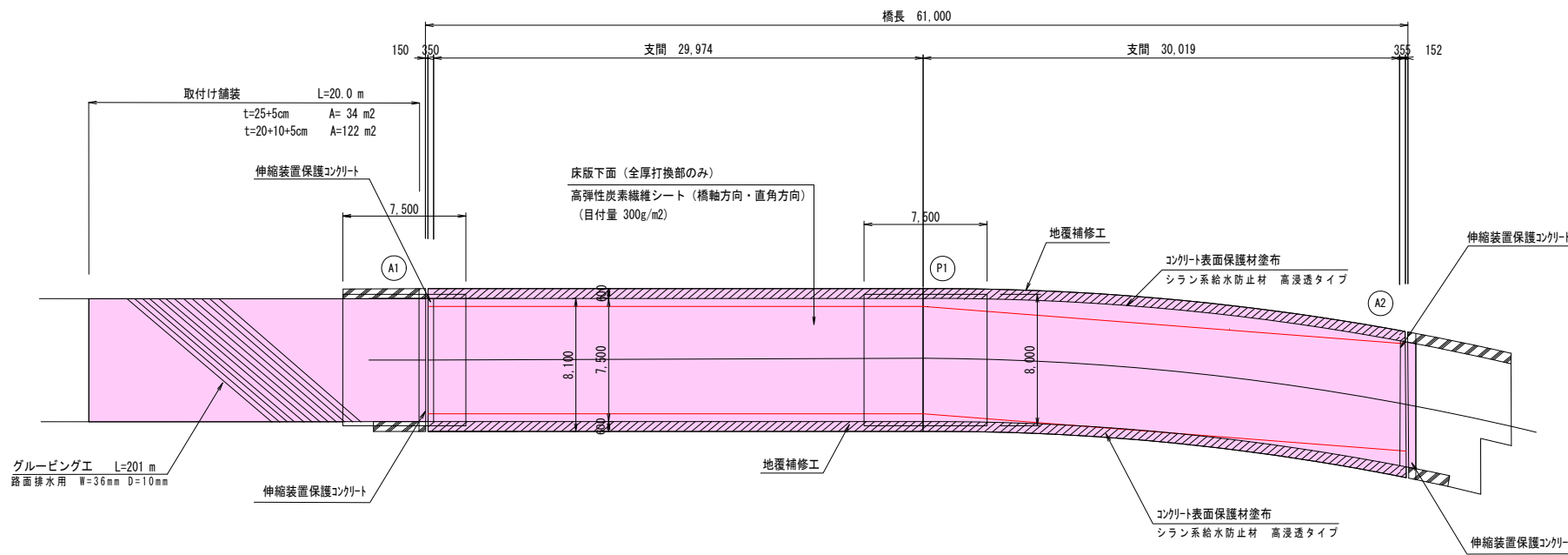


西餅屋橋 補修一般図

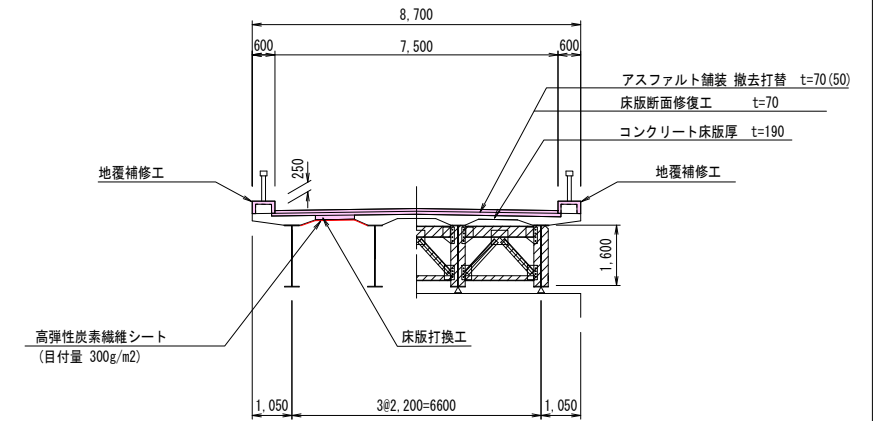
側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



断面図 S=1:100



設計条件

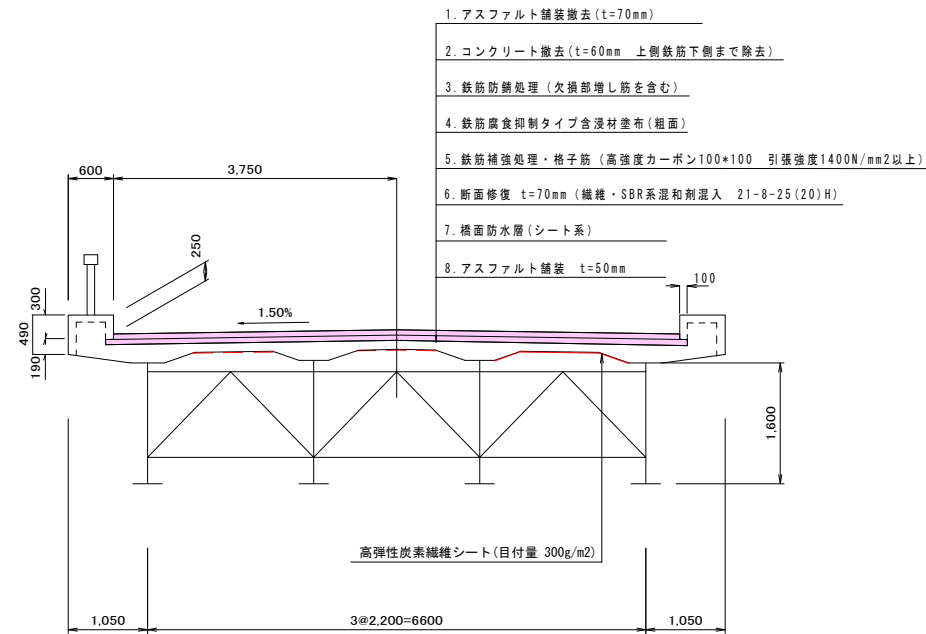
道路規格	3種3級
橋格	
橋長	61.000
支間	30.019+29.974
型式	2径間連続非合成版桁
有効幅員	7.500
総幅員	8.700
横断勾配	1.50%~6.0%
縦断勾配	8%
平面規格	A=80 クロソイド曲線
設計速度	50km/h
占用添加物	無 (100kg/m ³)
雪荷重	100kg/m ²
床版の割増	1.1
設計震度	Kh=0.20

実施図

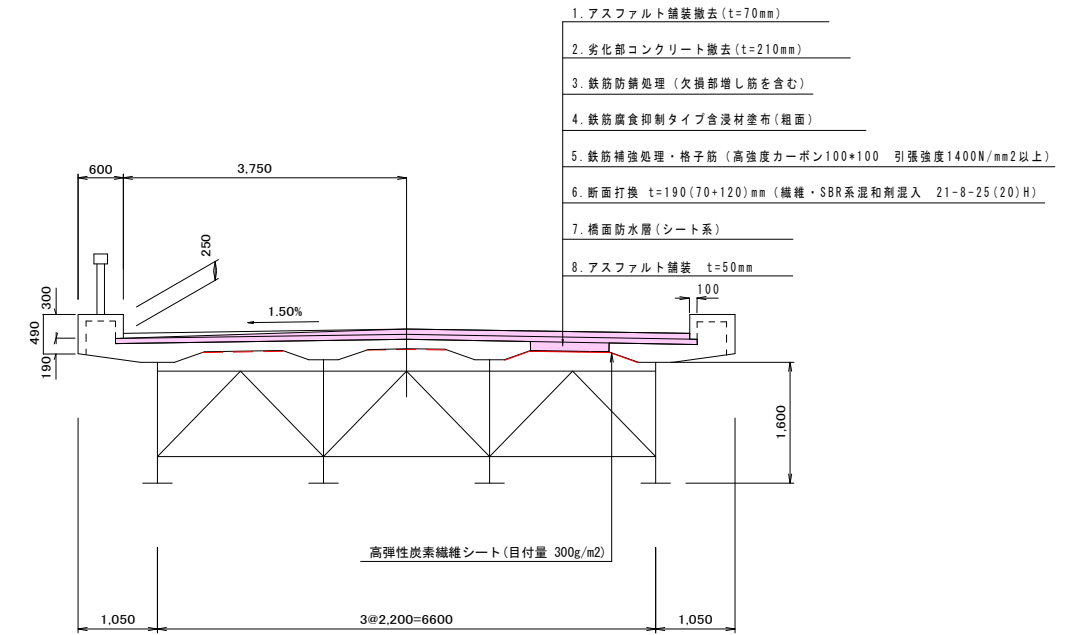
平成 25年度 新和トンネル有料道路 橋梁修繕工事			
番号	1/6	西餅屋橋 補修一般図	縮尺 図示
新和トンネル有料道路 (R142号)			
諏訪郡下諏訪町 西餅屋橋			
所長	内田 謙	調査	田口 隆
設計		設計	佐藤
長野県道路公社			
設計会社	長野県道路公社	管理技術者	
		調査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

西餅屋橋 床版（上面）断面修復図

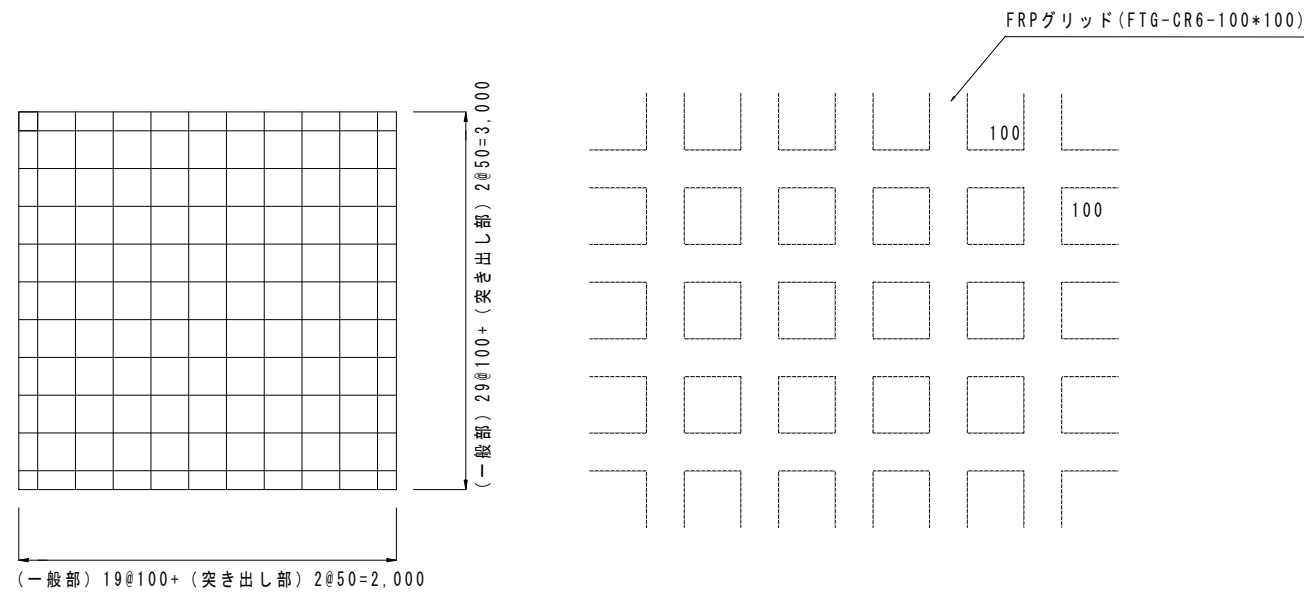
補修 CASE-1
床版上面劣化部 S=1:50



補修 CASE-2
床版全厚劣化部 S=1:50



格子筋（高強度カーボン）補強工法 施工詳細図



- プラスチックひび割れは超速硬型無収縮モルタルとSBR系乳液で処理する。
- 床版下面は断面修復・部分打換え後にひび割れ注入を実施する。
- 鉄筋かぶりは最少 25mm 以上とする。
- 床版（上面）断面修復は1ブロック10mとし、支間中央部からの施工とする。
- 地覆コンクリートの打設は床版（上面）断面修復完了後とする。

格子筋（高強度カーボン）性能表

材料（相当品）	筋断面積	格子間隔	引張強度	引張弾性率
FTG-CR6-100*100	17.5mm ²	100*100mm	1,400N/mm ²	1.0*10 ⁵ N/mm ²

FRPグリッド相当品の継ぎ手長は3節2折以上とする。
今回の場合は突き出し部を含め、300mm以上とし、橋軸方向および直角方向に設ける。

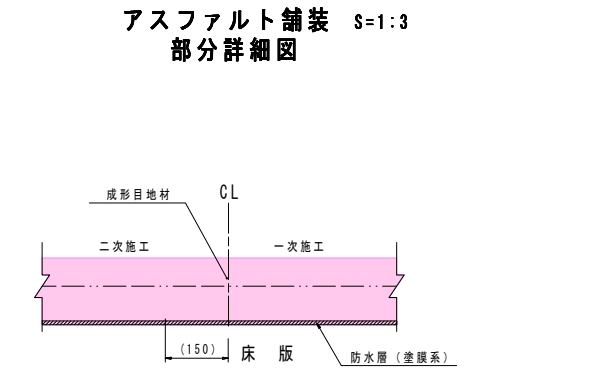
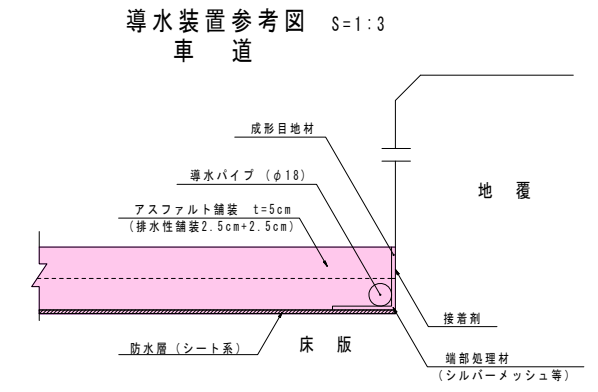
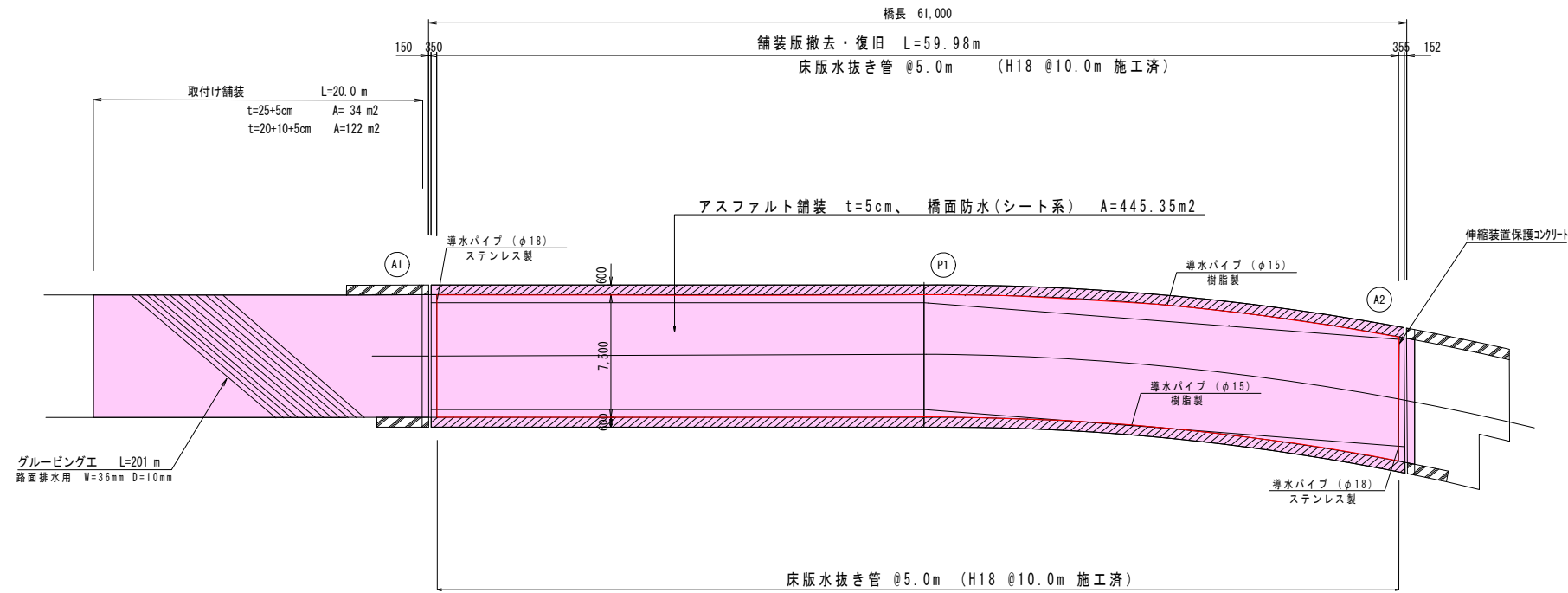
格子筋（高強度カーボン）工法 数量表

材料名	品番・仕様（相当品）	数量	標準使用量
格子筋	FTG-CR6-100*100	000m ²	1.20m ² /m ²

実施図

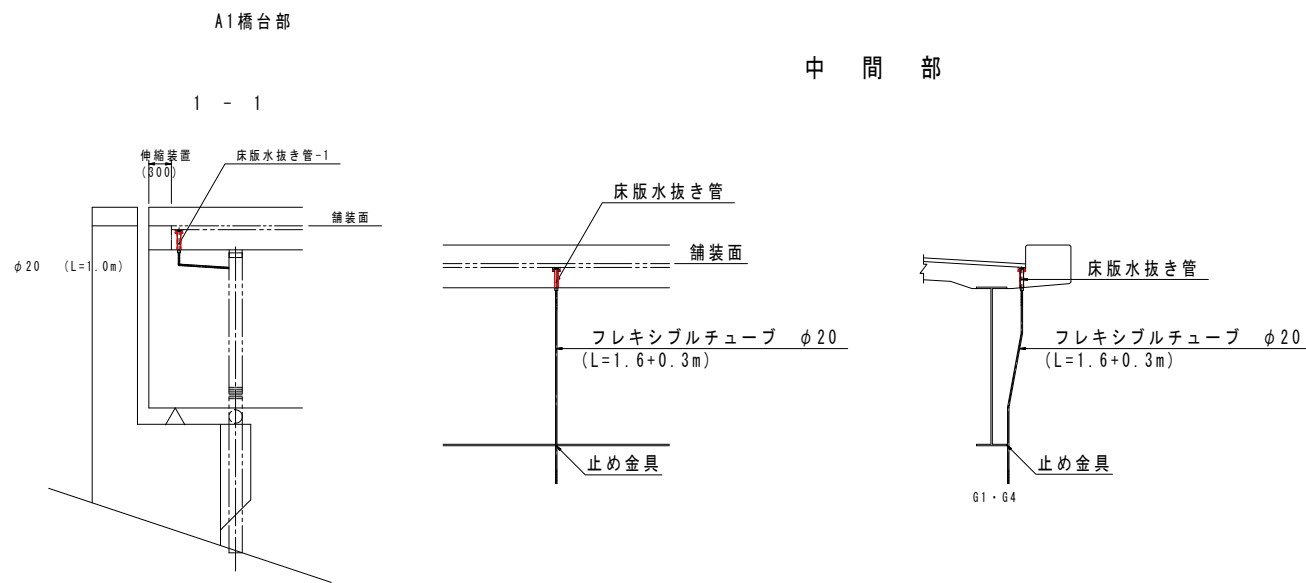
平成 25年度 新和田トンネル有料道路 橋梁修繕 工事			
番 号	2/6	床版断面補修図	縮 尺 図 示
新和田トンネル有料道路 (R142号)			
諏訪郡下諏訪町 (西餅屋橋)			
所 長	内田 謙	照 査	田口 俊郎
長野県道路公社			
設計会社	長野県道路公社	管理技術者	
測量会社		調査技術者	
調査会社		主任技術者	

西餅屋橋 橋面補修工 S=1:200

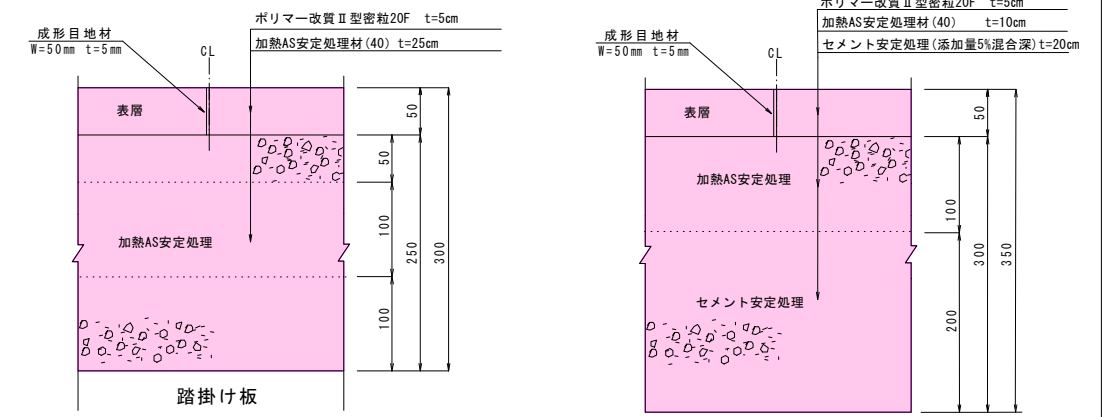
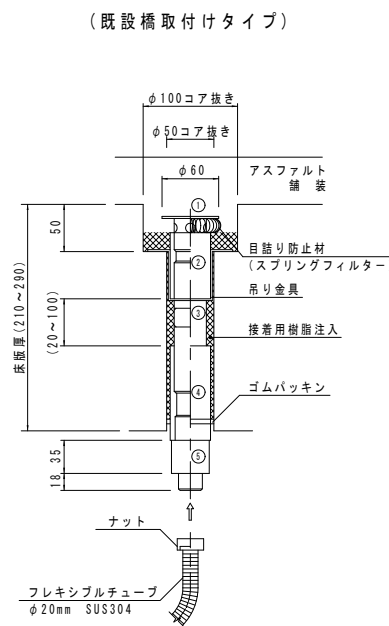


車道部(踏掛け版上) 詳細図 S=1:4 車道部(取付け) 詳細図 S=1:4

床版水抜き 取付図 S=1:50



床版水抜き管 参考構造図



*成形目地は表層工で既設構造物に接する箇所にも貼付する。

(既設用 参考数量表)

部材名	寸法	備考
本体構成部品	① φ34.0×35	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ) キャップ付(φ60×2.3t)
"	② φ42.7×70	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)
"	③ φ34.0×140	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)
"	④ φ42.7×100	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)
"	⑤ 40.0×80	樹脂性
吊り金具		普通鉄板
ゴムパッキン		
目隠り防止フィルター		スプリングフィルター(SUS304)
フレキシブルチューブ	φ20	ステンレス(SUS304)
接着用樹脂注入	0.4kg/箇所	エポキシ樹脂

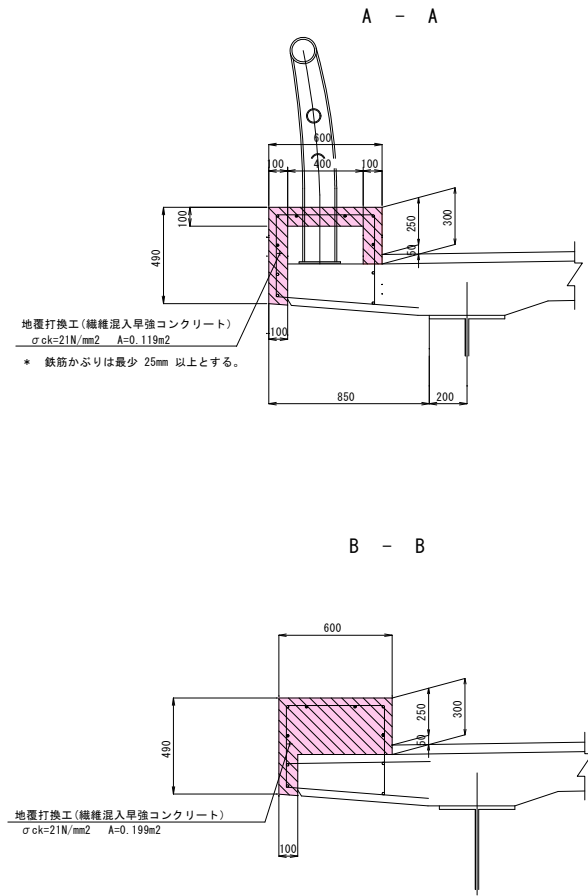
- 注記
- タイプ標-2、対応床版厚210~290mm
 - 主材は、STKM-13A-SH。表面処理は、HDZ-35を施して有ります。
 - 排水処理導水の場合は、フレキシブルチューブを取付けます。
 - コア削孔時には、床版鉄筋に注意。

実施図

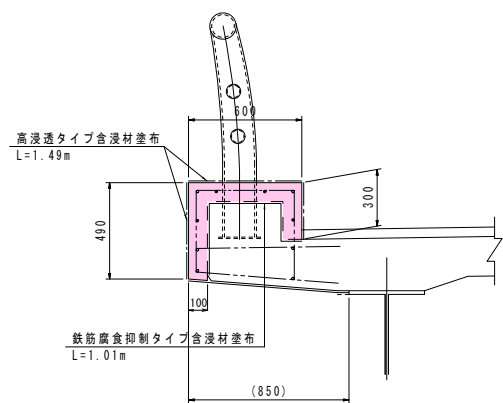
平成25年度	新和トンネル有料道路	橋梁補修工事
第3号	橋面補修工	縮尺 図示
新和トンネル有料道路		
環状部下環状町(西餅屋橋)		
所長	内田 謙	調査 田口 設計 佐藤
長野県道路公社		
設計会社	長野県道路公社	管理技術者
測量会社		調査技術者
調査会社		主任技術者

西餅屋橋 地覆補修工詳細図

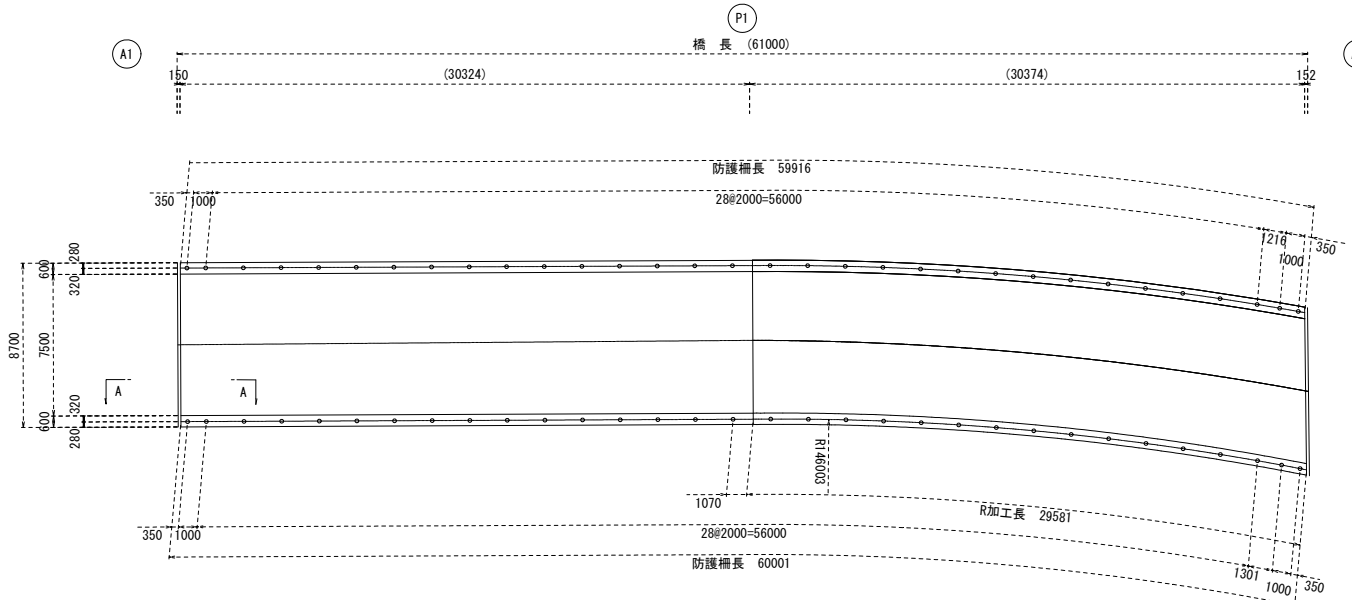
地覆補修断面図 S=1:20



地覆、張出床版下面保護工法参考図 S=1:20

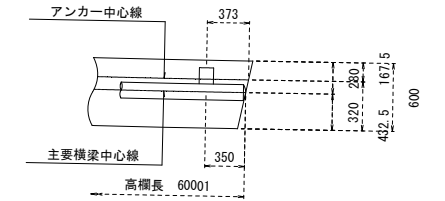


高欄配置図 S=1:200

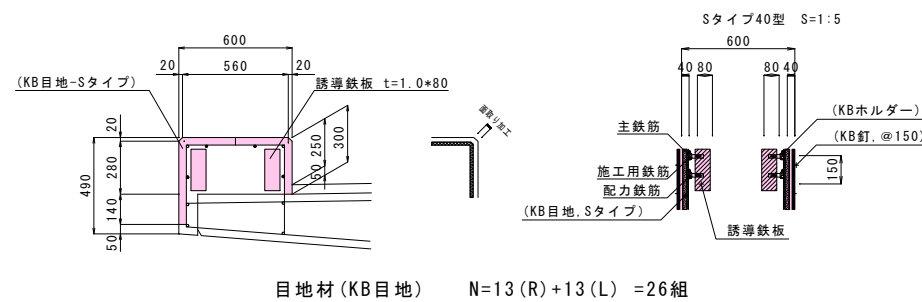


注) 寸法線はアンカー中心線上の実長を示す。
() 内寸法値は水平長を示す。

* 目地間隔はL=5.0m以下とする。

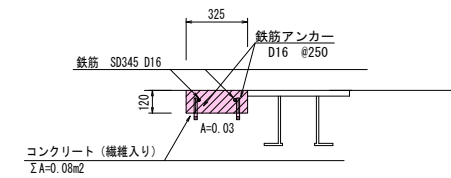


膨張・収縮目地(誘発目地)参考図 S=1:20



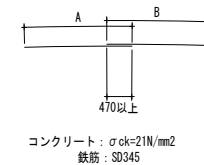
目地材(KB目地) N=13(R)+13(L) =26組

伸縮装置補修工



名称	細別	計算式	単位	数量	備考
取壊工	無筋コンクリート		m³		
アンカー工	差し筋カケ D16	7.5×2/0.25	本	60	
鉄筋工	SD345 D16	7.5×2×1.56	kg	23.4	
コンクリート工	Z1-8-25H 繊維入り	0.03×7.5	m³	0.22	

名称	細別	計算式	単位	数量	備考
とりこわし工		0.119×(61.0+61.0+0.3×26)+0.199×0.3×26	m³	15.14	
鉄筋工	SD345 D13		m²		
鉄筋防錆処理工	セメント系	(61.0+61.0)×0.3(推定)=36.6kg/2.0kg	m²	18.3	2.0kg/m²
地覆コンクリート工	Z1-8-25H繊維入り	0.119×(61.0+61.0+0.3×26)+0.199×0.3×26	m³	15.142	
目地材	KB目地 相当		組	26	



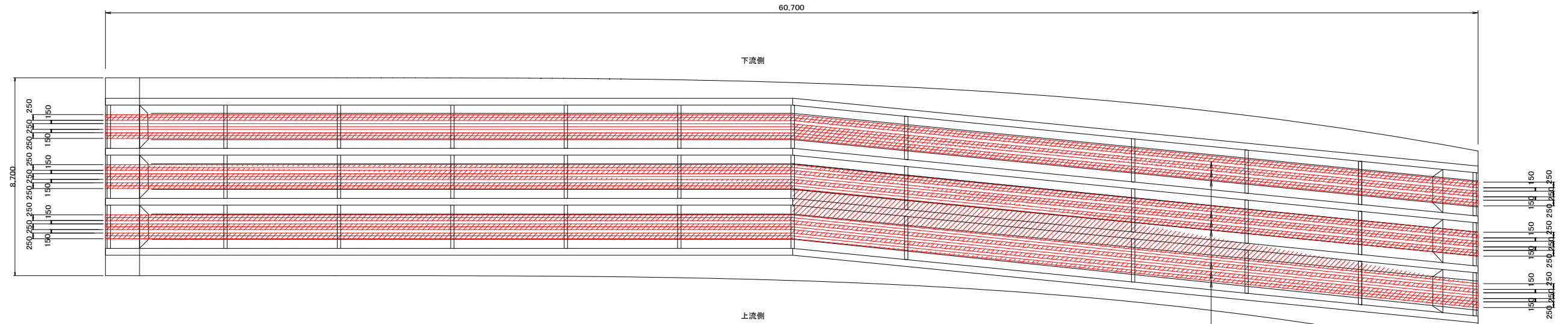
注) *地覆の既設鉄筋は、基本的に撤去しない。
*地覆の既設鉄筋には防錆処理を施す。
*鉄筋の断面減少、破断等が確認された場合には、鉄筋取換え、添え筋を施すものとする。

実施図

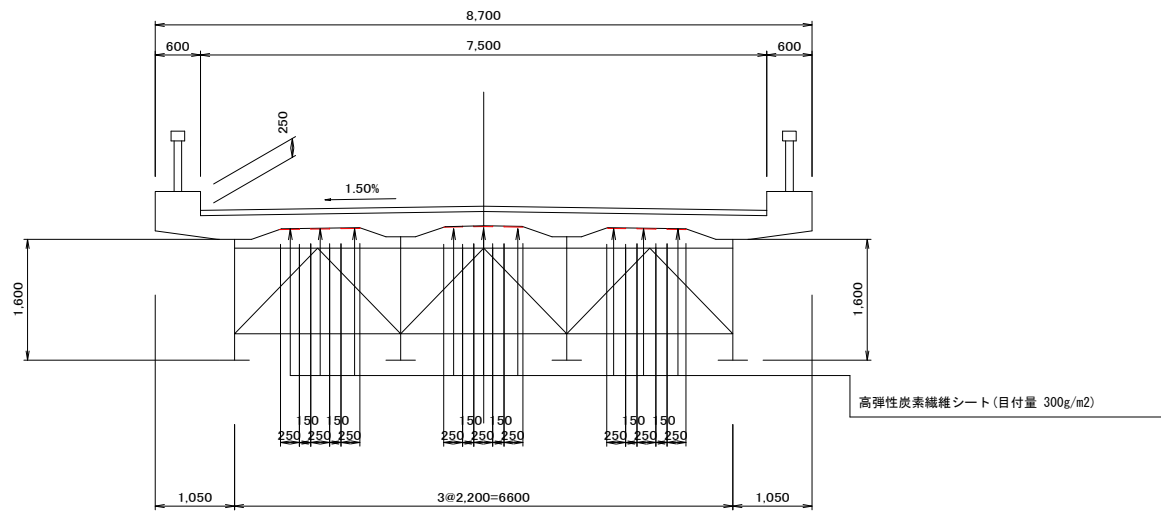
平成 25 年度 新和田トンネル有料道路 橋梁修繕 工事					
番 号	4/6	地覆補修工	縮尺	図 示	
新和田トンネル有料道路					
諏訪郡下諏訪町(西餅屋橋)					
所 長	内 田	課 長	田 口	設 計	佐 藤
長野県道路公社					
設計会社	長野県道路公社	管理技術者			
測量会社		主任技術者			
調査会社		主任技術者			

西餅屋橋 床版（下面）補強図

平面図 S=1:100

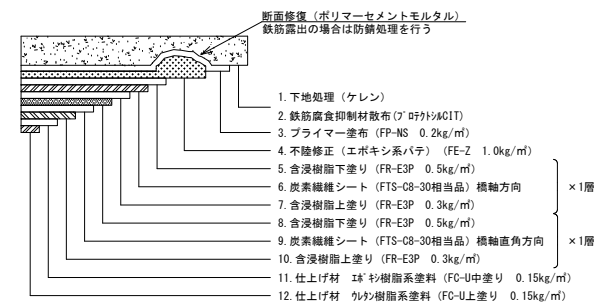


断面図 S=1:50

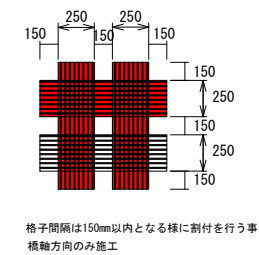


炭素繊維シート施工仕様図 S=free

炭素繊維シート施工図（床版下面）



炭素繊維シート施工図



補修補強一覧表

(炭素繊維)

(目付量 300g/m²)

部材名	位置	工法等	備考
床版	連続版	接着工法	配力筋方向：高弾性タイプ 1層9列 (B=250)

炭素繊維シート材料諸元

引張強度	1,900N/mm ²
引張弾性率	6.40 × 10 ⁻³ N/mm ²
設計厚	0.143 mm

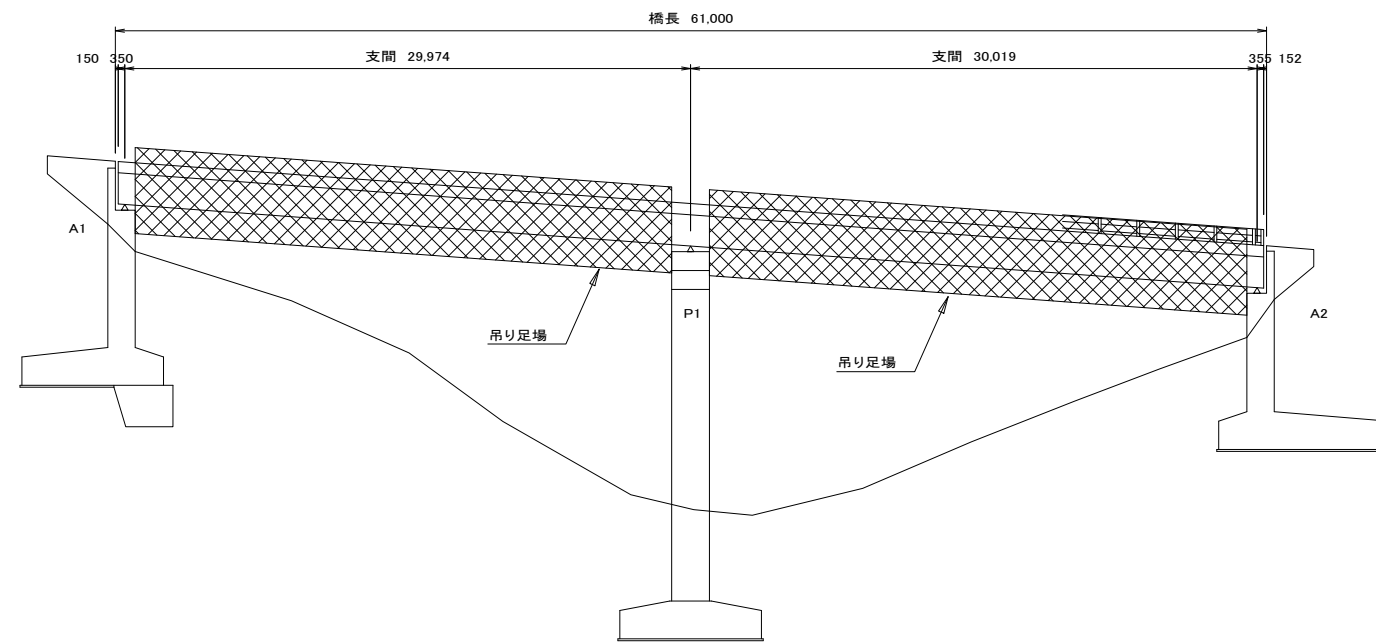
実施図

平成25年度 新和トンネル有料道路 橋梁修繕工事					
番	5	西餅屋橋	縮	図	示
号	6	床版(下面)補強図	尺		
新和トンネル有料道路 (R142号)					
諏訪郡下諏訪町 西餅屋橋					
所	内	課	照	田	計
長	長		査	口	佐
長野県道路公社					
設計会社	長野県	管理技術者			
	道路公社	照査技術者			
測量会社		主任技術者			
調査会社		主任技術者			

西餅屋橋 仮設図

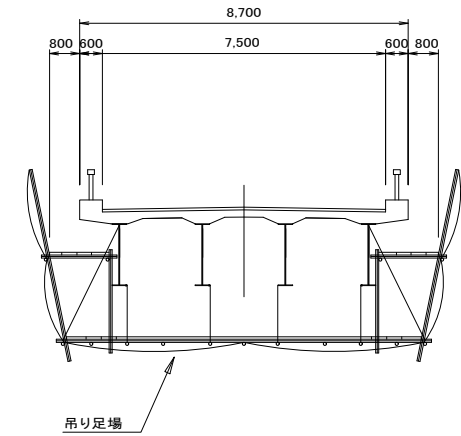
側面図

S=1:200



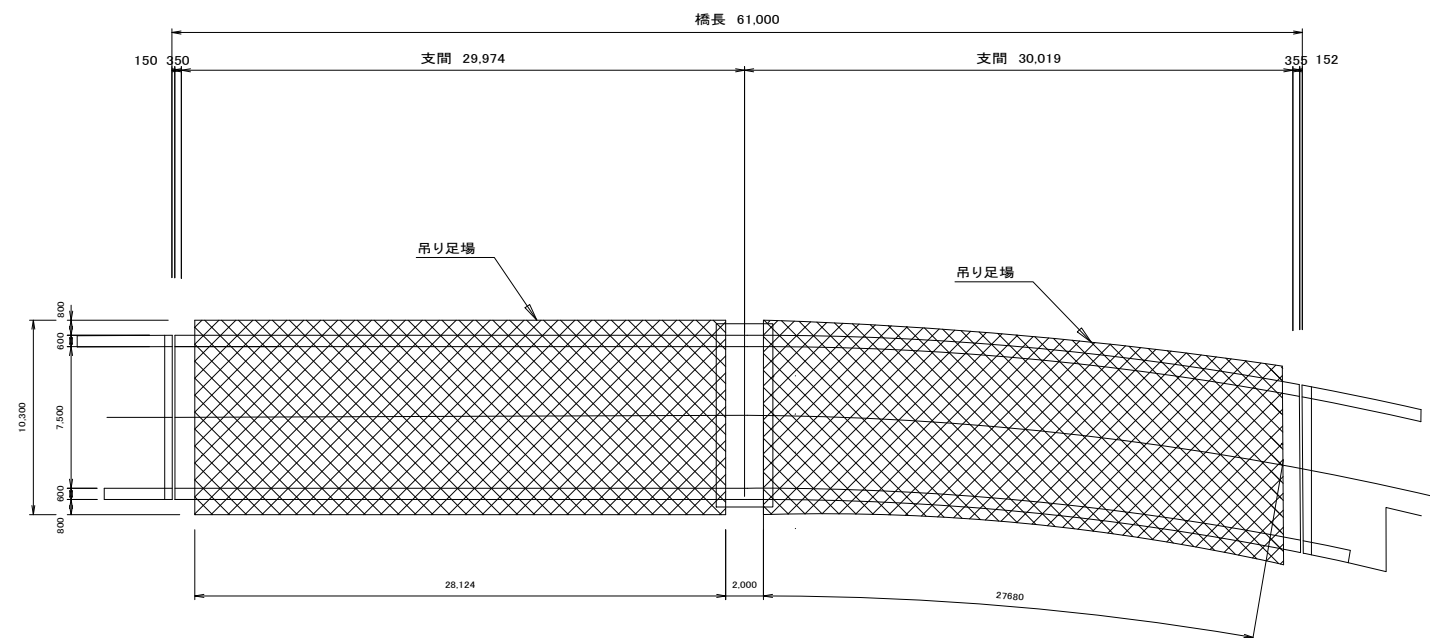
断面図

S=1:100



平面図

S=1:200



吊り足場

$$A = 10.3(28.1 + 27.8) = 575.77\text{m}^2$$

地覆足場

$$A = 61.0 \times 2 \times (0.80 + 1.00) = 219.60\text{m}^2$$

実施図

平成 25 年度 新和田有料道路 橋梁修繕 工事			
番 号	6/6	仮設図	縮 尺 図 示
新和田有料道路 (R142号)			
諏訪郡下諏訪町 西餅屋橋			
所 長	内田	課 長	田口
照 査	田口	設 計	佐藤
長野県道路公社			
設計会社	長野県 道路公社	管理技術者	
測量会社		調査技術者	
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	